

ポツダム大学

ペトラ=ヴァルシュブルガー教授 ご来学記念

研究発表会



心理学・栄養科学専攻の学生が行う研究発表に対して、
Warschburger教授が講評し、議論を深めます

発表者

◆王 燕園

(大学院人間発達科学専攻 心理学コース 博士前期課程 1年)

An experimental study on the impact of emotional awareness
and emotion regulation on emotional eating in East Asian college students

◆佐藤 清香

(大学院ライフサイエンス専攻 食品栄養科学領域 博士後期課程 3年)

When did older adults start their eating behaviors? - Focusing on the eating behaviors
associated with frailty

◆濱下 果帆

(大学院ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース 博士前期課程 2年)

A Study on "Epicurean Eating Pleasure" and healthy dietary habits among Japanese workers

◆西田 依小里

(大学院ライフサイエンス専攻 食品栄養科学コース 博士前期課程 2年)

Characteristics of those who order the appropriate amount of food in restaurants



ポツダム大学カウンセリング心理学講座
患者研修・カウンセリングセンター長

小児期や青年期の生活習慣病や摂食障害に対する心理的アプローチを
専門とする。予防・治療プログラムの開発やランダム化比較試験による
検証研究の経験多数。

近年では上記に加え、COVID-19の長期的影響や高齢者の食品選択に関
する研究や、日独国際共同研究もおこなっている。

2024年3月7日 (木) 10:00~11:00

お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102室

- ✓ 対面開催
- ✓ 言語：英語（同時通訳なし）
- ✓ 学内者ならどなたでも歓迎
- ✓ 右のQRコードよりお申し込みください

入退室自由



【主催】お茶の水女子大学SDGs推進研究所

<https://www.cf.ocha.ac.jp/sdgs/sdgs-office@cc.ocha.ac.jp>